

四中 図書館だより

本の森から 令和3年 3月号



調布市立第四中学校図書館
学校司書 菊地順子

日が少しずつ長くなってきました。学年末考査も終わり、今年度の締めくくりの時期を迎えました。

3年生のみなさんは、いよいよ卒業ですね。中学3年間で一冊でも心に残る、素敵なお本に出会えたでしょうか？これからも進学先や公共の図書館を大いに活用して本に親しみ、心豊かな人生を歩んでいってほしいと願っています。

貸出についてのお知らせ

★ 貸出は、
3月10日(水)まで

★ 最終返却期限は、
3年生 …… 3月12日(金)
1・2年生 …… 3月17日(水)

3月は貸出日が少ないので、読みたい本がある人はお早めに!

- ※ 貸出期間が通常の2週間より短くなるので、注意してください。
- ※ すでに返却期限の過ぎている本をまだ返していない人は、大至急、返却してください。

❁ 春休み中は閉館です。市立図書館などを利用して、読書の習慣を続けてくださいね!

生きづらさを感じる中高生に向けて書かれた、児童精神科医による、解決のヒントを集めた一冊。「あなたたちはみな、守られるべき存在だ、ということをお忘れなさい」と著者は言う。



新着本



書名	著者名	分類
0~8 文学以外		
10代から身につけたい ギリギリな自分を助ける方法【KADOKAWA】	井上 祐紀	146 イ
お札に描かれる偉人たち 渋沢栄一・津田梅子・北里柴三郎	楠木 誠一郎	281 ク
過労死しない働き方 働クリアルを考える(岩波ジュニア新書)	川人 博	366 カ
コンパスが南をさすとき 地球のN極とS極が引っくり返るなぞに挑む	陰山 聡	450 カ
クジラをめぐる冒険 ナゾだらけの生態から対立する捕鯨問題まで	石川 創	489 イ
モヤモヤそうだんクリニック【NHK出版】	池谷 裕二	491 イ
すごいぞ!はたらく知財 14歳からの知的財産入門	内田 朋子	507 ス
9 文学		
恋とポテトとクリスマス	神戸 遥真	913 コ
恋とポテトと文化祭	神戸 遥真	913 コ
令夢の世界はスリッパする 赤い夢へようこそ-前奏曲-	はやみね かおる	913 ハ
跳べ、暁!	藤岡 陽子	913 フ
色どろぼうをさがして	エヴァ・ジョゼフコヴィッチ	933 ジ
雪山のエンジェル	ローレン・セントジョン	933 セ
キャラメル色のわたし	シャロン・M.ドレイパー	933 ド
オール★アメリカン★ボーイズ【偕成社】	ジェイソン・レノルズ	933 レ



黒人の少年ラシャドが万引きを疑われ、白人警官から激しい暴行を受けた。目撃した白人の少年クインは、警官が兄貴のような存在のポールだと気づき現場から逃げた。事件の動画がテレビやネットで拡散、少年たちが通う高校では抗議のデモが計画される。揺れ動く心を、ラシャドとクインそれぞれの視点から語り、アメリカの今を描き出す物語。

子どもたちから寄せられた「モヤモヤ」に、脳研究者と絵本作家が、科学とユーモアで答えます。

★...★...★ ”新書” って知ってますか？ ★...★...★

新書というのは、本のサイズの呼び方です。文庫本より少し大きなサイズ（たて約18cm、よこ約11cm）で、専門分野の入門書の書き下ろしが多くあります。

新書の中でも、中高生向けに書かれているのが”岩波ジュニア新書”シリーズ（岩波書店）です。社会問題、教養、生き方などの幅広い内容を専門家が解説しています。「新書はむずかしい」と思われがちですが、おもしろい視点や切り口、わかりやすい文章で書かれているのがこのシリーズの特長です。

今月は、四中図書館で所蔵しているさまざまなジャンルの140冊余りを集めて展示しています。ここでは、社会を知り生き方を考えるために、中学生・高校生のうちにぜひ読んでほしい本を選んで紹介します。

3年生は、四中図書館で借りられる期間に限りがあるので、興味のあるジャンルの1冊だけでもこの機会に読んでみませんか？ 進学先の学校図書館でもおそらく所蔵していると思います。高校生になってからでもよいので、いろいろなテーマの新書にぜひチャレンジしてみてください！

『中高生のための「かたづけ」の本』
杉田 明子



いつも物を探しているような毎日を何とかしたい人に、かたづけ力をつけるための本。すべて出す→分ける→選ぶ→収める。選んだ後、ただ捨てればいいわけではない。必要なものと不要なものを自分の目で確かめることが大事。人生は日々こまかい選択の連続。かたづけ力をつけるということは、実はこの「選ぶ力」をつけることにつながると著者は言う。

『その情報、本当ですか？』 塚田 祐之



著者は長年、NHKの報道番組の企画・取材・制作に携わり、事実を伝えることを第一にしてきた。テレビの現場での経験を紹介しながら、今後のテレビの在り方と、ネットの情報があふれるようになった近年、受け手に必要なことは何かについて語る。

『男子が10代のうちに考えておきたいこと』 田中 俊之



知らず知らずのうちに「男らしく」という圧力をかけられ育つ男子。「女らしく」を窮屈（きゅうくつ）に思う女子と同様、性的役割分業の常識や固定観念を一度疑ってみる必要がある。著者は男性学の立場から高校生男子に向けて、これからの世の中や進路・生き方を考えてみよう！と提案しているが、男子だけでなく女子も、「社会の仕組みや、家庭や家族の在り方も多様に変化していくものだ」と知っておくことは、柔軟に生き方を考えるのに役立つ。

『シアワセなお金の使い方』 南野 忠晴



高校の家庭科の先生である著者が実践している、自分自身も暮らしも、さらには社会もシアワセになるお金の使い方を10代の若者たちに講義する。賢い消費者になる知恵を身につけるとともに、本当の意味でのシアワセについて考える一冊。

『大学で大人気の先生が語る〈失敗〉〈挑戦〉〈成長〉の自立学』 佐藤 剛史



「なぜ、僕は生まれたの？」「入試に失敗したらどうなる？」「学歴って必要？」「お金を稼ぐにはどうすればいい？」「料理なんかより勉強の方が、ずっと大事だと思います」「大人になりたいありません」等の小・中・高生の疑問・質問に答える。

『レンアイ、基本のキ』 打越 さく良



恋愛ってどんなものだろう？好きだと思ってスタートした恋愛が、気づいたら暴力をふるったりふるわれたりする関係になっていた…。そんな不幸なことにならないために、二人の関係のあり方を考える本。

3年間の読書記録 差し上げます！

3年生のみなさん、四中図書館で借りた本のリストを、読書記録として希望者に差し上げます。希望する人は、**3月12日(金)まで**に司書に申し込んでください。（個人貸出カード【クローバー・シルバー・ゴールド・レインボー】保有者には、自動的にプレゼント！申し込みは不要です。）

3年間の読書記録を振り返ると、読んだ本の内容とともに、読んだ頃の思い出もよみがえってきて、あなたの成長の足跡がたどれますよ。

卒業おめでとう！